

日本医用画像工学会 2018 年度総会 議事録

会 期：2018 年 7 月 26 日（木） 13:30～14:30

会 場：筑波大学 天王台キャンパス 大学会館（講堂）

出席者：出席 63 名 委任状 46 名

議事：1. 出席 63 名、委任状 46 名の合計 109 名で総会が成立することが確認された。

2. 尾川会長より開会のご挨拶があった。

3. 恒例により異議なく尾川会長に議長が一任された。

4. 審議事項

（1）2017 年度事業報告および 2018 年度事業計画

1) 大会関係について宮崎常任幹事より報告された。

2) 学術・渉外について花岡常任幹事より報告された。

3) 国際担当について原常任幹事より報告された。

4) 編集委員会について湯浅編集委員長より報告された。

5) 広報委員会について山谷委員長より報告された。

6) 教育委員会について中田常任幹事より報告された。

7) 事業担当について清水常任幹事より報告された。

事業報告、事業計画について承認された。

（2）2017 年度決算報告

1) 2017 年度決算報告について小尾常任幹事より報告された。

2) 2017 年度決算報告会計監査報告について安藤監事より報告され、承認された。

（3）2018 年度予算案について小尾常任幹事より報告され、承認された。

（4）役員人事について宮崎常任幹事より報告され、承認された。

（5）「田中栄一記念賞（MIT 誌論文賞）」規約の改定について宮崎常任幹事より報告され、承認された。

5. 報告事項

（1）第 36 回大会『大会奨励賞』の受賞者の紹介がされた。

（2）2017 年田中栄一記念賞（MIT 誌論文賞）の受賞者が紹介され、湯浅編集委員長より受賞の経緯の説明があり、授賞式を行った。

田中栄一先生より、今年度についても 100 万円の寄付をいただいたことが報告された。

（4）縄野幹事へ功労賞を授与することが報告され、授賞式を行った。

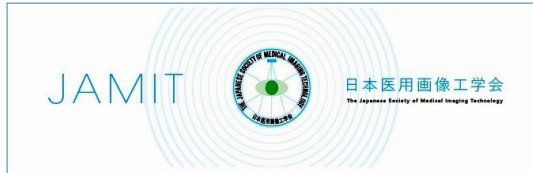
縄野幹事よりご挨拶があった。

（3）第 38 回大会について佐藤大会長よりご挨拶があった。

6. 尾川会長より閉会のご挨拶があった。

以上

第37回日本医用画像工学会総会 (JAMIT2018)

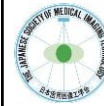


進行次第

1. 開会の辞
2. 審議事項
 - (1) 2017年度事業報告および2018年度事業計画
 - (2) 2017年度決算報告および会計監査報告
 - (3) 2018年度予算案
 - (4) 役員人事、他
3. 第36回大会「大会奨励賞」授賞者報告
4. 2017年度「田中栄一記念賞」(MIT誌論文賞) 授賞者報告
5. 功労賞表彰
6. 第38回大会長の挨拶
7. 閉会の辞

次回第38回大会(JAMIT2019) 佐藤 嘉伸 大会長
7月24日(水)~26日(金) 奈良県文化会館 (会期、会場、ともに予定)

1



2018年度総会式次第

1. 開会の辞
2. 審議事項
 - (1) 2017年度事業報告および2018年度事業計画
 - (2) 2017年度決算報告および会計監査報告
 - (3) 2018年度予算案
 - (4) 役員人事、他
3. 第36回大会「大会奨励賞」授賞者報告
4. 2017年度「田中栄一記念賞」(MIT誌論文賞) 授賞者報告
5. 功労賞表彰
6. 第38回大会長の挨拶
7. 閉会の辞

2

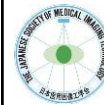


2018年度総会式次第

2. 審議事項

- ① 2017年度事業報告および2018年度事業計画
 - 大会関係
 - 学術・渉外担当
 - 国際担当
 - 編集委員会
 - 広報委員会
 - 教育委員会
 - 事業担当
- ② 2017年度決算報告および会計監査報告
- ③ 2018年度予算案
- ④ 役員人事について
- ⑤ 田中栄一記念賞(MIT誌論文賞) 規約の改定について

3



事業報告および事業計画：大会関係

・2017年度報告

第36回大会を、藤田 広志 大会長(岐阜大学)のもとに、
じゅうろくプラザにて開催した。
(7月27日~29日) / 参加者数：350名・演題数：125

・2018年度報告

第37回大会を、工藤 博幸 大会長(筑波大学)のもとに、
筑波大学 天王台キャンパス 大学会館(つくば市)にて開催する。
(7月25日~27日)

・2019年度予定

第38回大会を、佐藤 嘉伸 大会長(奈良先端科学技術大学院大学)のもとに、
奈良県文化会館にて開催する。(7月24日(水)~26日(金))
※会期、会場、ともに予定

4



事業報告および事業計画：学術・渉外 連合フォーラム活動等

2017年度活動報告

- JAMIT Frontier 2018 (メディカルイメージング連合フォーラム) を開催**
(電子情報通信学会MI研, 医用画像情報学会, 日本写真学会, 日本生体医工学会共同開催)
 - 期日: 2018年3月19日(月), 20日(火)
 - 場所: 石垣島 ホテルミヤヒラ

2018年度活動計画

- JAMIT Frontier 2019 を開催予定**
 - 期日: 2019年1月 or 3月
 - 場所: 沖縄 (予定)

5



2017年度報告・2018年度計画 国際担当

IJCARS JAMIT2015&2016大会特集発刊完了 第2回JAMIT2017&2018大会特集号企画



2014 IF=1.707
2015 IF=1.827
2016 IF=1.863
2017 IF=1.961



Editor-in-chief Lemke 教授との会議

(担当: 稲色, 清水, 佐藤, 原)

- 2015年4月 横浜
IJCARS-JAMIT特集号に向けての基本合意
- 2015年10月 独・ミュンヘン
論文募集方式、スケジュールの協議
- 2016年6月 独・ハイデルベルグ
査読者選定方式、査読方式等の協議

- 2017年4月 横浜
第2回 IJCARS-JAMIT特集号の基本合意
CARS 2022 日本開催立候補の打診(2018年6月提案書)
- 2017年6月 スペイン・バルセロナ
**第2回 特集号の論文募集方式、スケジュールを
第1回と同様とすることで合意**

6



2017年度報告・2018年度計画 国際担当

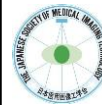
IJCARS JAMIT2015&2016大会特集発刊完了 第2回JAMIT2017&2018大会特集号企画

- 2016年8月15日 IJCARS投稿締切
- 2017年5月 IJCARS, Vol. 12, Issue 5 に掲載**
(31本投稿中 7本掲載、当初計画より1~2ヶ月の遅れ)
- JAMIT 2017から投稿依頼論文の推薦と投稿確認を実施 (6月中旬)
11/18 演題が投稿を計画
- JAMIT2018大会で特集号への投稿確認を実施 (6月中旬)
10 演題が投稿を計画 (予定)
- 2018年8月15日 締め切り
- 2018年10月 第1回査読結果
- 2018年12月 修正締め切り
- 2019年1-2月 採択通知
- 2019年3月 オンライン掲載
- 2019年5月 印刷版

IJCARS に掲載された特集号の目次 May 2017, Volume 12, Issue 5



7



編集委員会2017年度活動報告

1/2



(1) 雑誌の発行

- Vol.35, No.4 『特集: 医用画像工学分野におけるディープラーニング応用と研究開発』
- Vol.35, No.5 『JAMIT2017大会査読付き論文』
- Vol.36, No.1 『特集: 被ばく線量管理技術』
- Vol.36, No.2 『特集: 医用画像処理におけるディープラーニング利用入門』
- Vol.36, No.3 『特集: マイクロ解剖学のための微細解剖構造イメージング』

(2) J-STAGE新画面・インターフェースへのリニューアル

巻号一覧の他、おすすめ記事、月間アクセス数ランキングなど

(3) 部分的なオープンアクセス化

原著論文(研究および速報)のオープンアクセス化

(4) 掲載料の値上げ

- (旧) 規定頁までは(研究5頁、速報3頁) ¥20,000/論文、超過頁は¥15,000/頁
- (新) 規定頁までは(研究5頁、速報3頁) ¥40,000/論文、超過頁は¥15,000/頁

8



編集委員会2018年度活動予定

2/2

(1) 雑誌の発行

- Vol.36,No.4『特集：微細解剖構造に対する画像処理』
- Vol.36,No.5『JAMIT2018大会査読付き論文』
- Vol.37,No.1『特集：医用画像ビッグデータ』
- Vol.37,No.2『特集：VR, AR, MRの医療応用』
- Vol.37,No.3『特集：医学研究における個人情報保護に関わる状況と医用画像処理研究』

(2) 雑誌改善の検討

- 投稿数の増大
- 読者の興味を引く特集の企画

論文投稿のお誘い

皆様方の積極的な研究成果の投稿をお願いします。

9



活動報告および活動計画：広報委員会

1/2

・ 広報委員会について

委員長	山谷泰賀 放射線医学総合研究所 (PET工学)
副委員長	上村幸司 香川大学 (医療情報工学)
委員	北坂孝幸 愛知工業大 (CAD工学)
	菅 幹生 千葉大学 (MRI工学)
	田中利恵 金沢大学 (放射線科学)
	中田典生 東京慈恵会医科大学 (超音波診断)

10



活動報告および活動計画：広報委員会

2/2

・ 2017年度事業報告

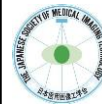
- ホームページの管理 (jamit.jp)
 - (株)メイプロジェクトに管理委託
- eNews Letterの発行
 - 非会員でも見れる情報誌。JAMITの発展に貢献することを主目的として、試行的継続。
 - 今年度実績
 - No.28 2017年12月 通算No.82
 - No.29 2018年04月 通算No.83
 - No.30 2018年07月 通算No.84



・ 2018年度活動計画

- 委員長交代予定 (山谷泰賀→北坂孝幸)
 - 新体制のもと、活動計画を策定する

11



活動報告：教育委員会

1/2

2017年度活動報告

・コニカミノルタ科学技術振興財団 JAMITハンズオンセミナー「深層学習体験」の実施

- CADコンテストの次期企画として実施。
- 開催日：大会期間中2017年7月28日(金)と29日(土)，90分のセミナーを5回実施。
- スタッフ(原 武史, 小田昌宏, 周 向栄, 福岡大輔, 村松千左子, 篠原範充, 李 鎔範, 松原友子)

12



活動報告：教育委員会

2/2

2017年度活動報告

－ チュートリアル講演会の開催

- ・ 開催日：2017年7月27日（木）
- ・ 場所：じゅろくプラザ（岐阜市）（第36回大会会場）
- ・ コニカミルタ科学技術振興財団 JAMITハンズオンセミナーと連携企画として実施

「深層学習の基礎、応用、実装、期待」

人工知能、機械学習と深層学習の基礎と応用

田村哲嗣（岐阜大学工学部）

深層学習のためのGPUシステム構築と研究・開発における運用

山崎和博（エヌビディア合同会社 ディープラーニング ソリューション アーキテクト）

人工知能システムの医学応用とその期待

木戸尚治（山口大学）

13



活動計画：教育委員会

1/2

2018年度活動計画

－ チュートリアル講演会の開催（総会時には実施済み）

- ・ 開催日：2018年7月25日（水） 13:00-15:40
- ・ 場所：筑波大学（つくば市）（第37回大会会場）
- ・ コニカミルタ科学技術振興財団 JAMITハンズオンセミナーと連携企画として実施

医用画像における深層学習を利用した研究のはじめかた

小田 昌宏（名古屋大学）

深層学習のための研究環境最前線

阮 佩穎（エヌビディア合同会社）

AIでできたこと・できなかったこと・これからの期待

中田 典生（東京慈恵会医科大学）

座長：花岡 昇平（東京大学）、平野 靖（山口大学）

14



活動計画：教育委員会

2/2

2018年度活動計画

－ コニカミルタ科学技術振興財団 JAMITハンズオンセミナーの実施

- ・ CADコンテストの次期企画として継続して実施。
- ・ 開催日：大会期間中2018年7月25日（水）と26日（木）
120分のセミナーを2回実施。
- ・ スタッフ（中田典生，原 武史，小田昌宏，福岡大輔）

15



2017年度活動報告：事業担当

次世代医療基盤法

「医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する法律についてのガイドライン（案）」について、関連学会との意見交換、会員の皆様からのご意見、常任幹事会での審議の結果、日本医用画像工学会として以下のコメントを投稿しました。

【日本医用画像工学会からの「医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する法律についてのガイドライン（案）」に対するコメント】

日本医用画像工学会は、本法律の施行により医療データの利活用が促進され、国民の健康増進、日本の医療業界の発展に資することを切に願います。

2018年4月6日

日本医用画像工学会 会長 尾川浩一

（法政大学 理工学部 教授）

16



2018年度総会式次第

2. 審議事項

① 2017年度事業報告および2018年度事業計画

- 大会関係
- 学術・渉外担当
- 国際担当
- 編集委員会
- 広報委員会
- 教育委員会
- 事業担当

② 2017年度決算報告および会計監査報告

③ 2018年度予算案

④ 役員人事について

⑤ 田中栄一記念賞（MIT誌論文賞）規約の改定について

17



2017年度決算 収入

2017年4月1日から2018年3月31日まで

I. 収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 正会員費	4,220,000	4,182,000	△ 28,000	正会員会費347件(2018年度分8件含む)、入会費20件、差額2件(8000円)
2. 学生会員費	480,000	572,000	92,000	学生会員143件(2018年度分1件含む)
3. 賛助会員費	1,200,000	1,200,000	0	賛助会員15口
4. 図書会員費	390,000	400,000	10,000	20000円×13、10000円×4、50000円×2
5. 会誌投稿料・超送買掲載料・別刷代	1,000,000	538,238	△ 461,762	
6. 大会事業収入	4,000,000	6,850,948	2,850,948	
7. CAD DB	100,000	0	△ 100,000	
8. ハンドブック販売収入	100,000	508,771	408,771	2018年度分910,800円含む
9. 教育事業収入	0	0	0	
10. 雑収入	20,000	188,084	168,084	
当期収入合計 (A)	11,510,000	14,447,038	2,937,038	
前年度繰越金	10,328,833	10,328,833		
収入合計 (B)	21,838,833	24,775,872		

18



2017年度決算 支出

II. 支出の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 会誌発行費 5回	4,300,000	3,647,591	△ 652,409	
2. 大会事業費 1回	4,000,000	6,031,887	2,031,887	
3. 表彰費	200,000	148,028	△ 51,972	
事業補助金				
4. JAMIT FRONTIER大会補助費	100,000	80,432	△ 19,568	
5. オープンディクショナリ研究会補助費	0	0	0	
事業費				
6. ハンドブック販売費	10,000	0	△ 10,000	
7. CAD DB制作費	50,000	0	△ 50,000	
幹事会・常任幹事会・事務費				
8. 会費	100,000	19,494	△ 80,506	
9. 旅費交通費	700,000	443,894	△ 256,106	
10. 広報関係費	50,000	0	△ 50,000	
11. 事務用品費	1,569,240	1,553,688	△ 15,552	
12. 備品・消耗品	10,000	0	△ 10,000	
13. 印刷費	70,000	51,408	△ 18,592	
14. 通信費	150,000	185,329	35,329	
15. 雑費	50,000	42,198	△ 7,802	
当期支出合計 (C)	11,359,240	12,203,949	844,709	
当期収支差額 (A-C)	150,760	2,243,090	2,092,330	
次期繰越収支差額(B-C)	10,479,593	12,571,923	2,092,330	
支出合計	21,838,833	24,775,872	2,937,039	

19



日本医用画像工学会 殿

日本医用画像工学会の平成29年度の決算報告書(表)を監査の結果、内容に相違ないことをここに承認致します。

2018年6月11日 監事 安藤 裕
2018年6月11日 監事 川岸 晴夫

20



2018年度総会式次第

2. 審議事項

- ① 2017年度事業報告および2018年度事業計画
 - 大会関係
 - 学術・渉外担当
 - 国際担当
 - 編集委員会
 - 広報委員会
 - 教育委員会
 - 事業担当
- ② 2017年度決算報告および会計監査報告
- ③ 2018年度予算案
- ④ 役員人事について
- ⑤ 田中栄一記念賞（MIT誌論文賞）規約の改定について

21



2018年度予算 収入

2018年4月1日から2019年3月31日まで

I. 収入の部

科目	18予算額	17予算額	備考
1. 正会員費	4,100,000	4,220,000	①1000x20 ②12000x340 入会金 年会費
2. 学生会員費	500,000	480,000	④4000x125
3. 賛助会員費	1,120,000	1,200,000	賛助会員14口
4. 図書会員費	380,000	390,000	①10000x4口 ②20000x12口 ③50000x2口
5. 会誌役料・超過買得額料・別刷代	800,000	1,000,000	
6. 大会事業収入 (CAD DB 販売収入)	4,000,000	4,000,000	大会事業支出と同額
7. ハンドブック販売収入 (教育事業収入)	100,000	100,000	ハンドブック発売20部
8. 雑収入	70,000	20,000	0
当期収入合計 (A)	11,070,000	11,510,000	
前年度繰越金	12,571,923	10,328,833	
収入合計 (B)	23,641,923	21,838,833	

22



2018年度予算 支出

II. 支出の部

科目	18予算額	17予算額	備考
1. 会誌発行費 5回 35巻3,4,5号,36巻1,2号	4,200,000	4,300,000	ニュースレター含む
2. 大会事務局費 1回	4,000,000	4,000,000	大会事業収入と同額
3. 表彰費	200,000	200,000	
事業補助金			
4. JAMIT FRONTIER大会補助費 (オープンディクショナリ研究会補助費)	100,000	100,000	0
事業費			
5. ハンドブック販売経費 (CAD DB 製作費)	0	10,000	50,000
幹事会・常任幹事会・事務費			
6. 会費	80,000	100,000	
7. 旅費交通費	550,000	700,000	
8. 広報関係費	50,000	50,000	
9. 事務局費	1,569,240	1,569,240	ホームページ固定費含む
10. 贈品・消耗品	10,000	10,000	
11. 印刷費	70,000	70,000	
12. 通信費	180,000	150,000	
13. 雑費	50,000	50,000	
当期支出合計 (C)	11,059,240	11,359,240	
当期収支差額 (A-C)	10,760	150,760	
次期繰越収支差額(B-C)	12,582,683	10,479,593	
支出合計	23,641,923	21,838,833	

23



2018年度総会式次第

2. 審議事項

- ① 2017年度事業報告および2018年度事業計画
 - 大会関係
 - 学術・渉外担当
 - 国際担当
 - 編集委員会
 - 広報委員会
 - 教育委員会
 - 事業担当
- ② 2017年度決算報告および会計監査報告
- ③ 2018年度予算案
- ④ 役員人事について
- ⑤ 田中栄一記念賞（MIT誌論文賞）規約の改定について

24



2018年度 役員人事関係一覧 (2018年7月26日)

■ 退任

副会長	:	羽石 秀昭	千葉大学
常任幹事	:	山谷 泰賀	放射線医学総合研究所
		原口 剛	コニカミルタ
幹事	:	稲邑 清也	JICARS (国際コンピュータ支援放射線医学・外科学協会)
		北坂 孝幸	愛知工業大学
		伊藤 俊英	シーメンスヘルスケア
		西原栄太郎	キヤノンメディカルシステムズ
		篠川 毅	島津製作所
監事	:	川岸 将実	キヤノン

25



2018年度 役員人事関係一覧 (2018年7月26日)

■ 新任

常任幹事	:	北坂 孝幸	愛知工業大学
		大沢 博之	キヤノンメディカルシステムズ
		宮崎 靖	日立製作所 (常任幹事代行中)
幹事	:	石田 隆行	大阪大学
		陣崎 雅弘	慶応義塾大学
		野崎 太希	聖路加国際病院
		羽石 秀昭	千葉大学
		山谷 泰賀	放射線医学総合研究所
		笠井 聡	コニカミルタ
		川岸 将実	キヤノン
		吉川 悦次	浜松ホトニクス
監事	:	篠川 毅	島津製作所

26



2018年度 役員人事関係一覧 (2018年7月26日)

■ 新役員体制

注：青字は再任

会長	:	尾川 浩一	法政大学
副会長	:	工藤 博幸	筑波大学
		佐藤 嘉伸	奈良先端科学技術大学院大学
常任幹事	:	大沢 博之	キヤノンメディカルシステムズ
		小尾 高史	東京工業大学
		北坂 孝幸	愛知工業大学
		清水 昭伸	東京農工大学
		中田 典生	東京慈恵会医科大学
		原 武史	岐阜大学
		花岡 昇平	東京大学
		宮崎 靖	日立製作所
		目加田 慶人	中京大学
		湯浅 哲也	山形大学

27



2018年度 役員人事関係一覧 (2018年7月26日)

■ 新役員体制 (続き)

注：青字は再任

幹事	:	石垣 武男	名古屋城北放射線科クリニック
		石田 隆行	大阪大学
		伊藤 聡志	宇都宮大学
		上村 幸司	国立循環器病研究センター
		大松 広伸	網走刑務所
		岡田 和久	京都大学
		掛川 誠	中央システム技研
		笠井 聡	コニカミルタ
		勝俣健一郎	国際医療福祉大学
		川岸 将実	キヤノン
		木戸 尚治	山口大学
		黒木 嘉典	新村病院、博愛会HPN東京
		真田 茂	小松短期大学
		陣崎 雅弘	慶応義塾大学
		杉本 直三	京都大学
		滝沢 穂高	筑波大学
		武田 徹	北里大学
		陳 延偉	立命館大学

28



2018年度 役員人事関係一覧

(2018年7月26日)

■ 新役員体制 (続き)

注：青字は再任

幹事	土居 篤博	富士フイルム
	縄野 繁	国際医療福祉大学
	仁木 登	徳島大学
	野崎 太希	聖路加国際病院
	長谷川 純一	中京大学
	畑中 裕司	滋賀県立大学
	羽石 秀昭	千葉大学
	平野 靖	山口大学
	藤田 広志	岐阜大学
	細羽 実	京都医療科学大学
	増谷 佳孝	広島市立大学
	森 健策	名古屋大学
	森 雅樹	札幌厚生病院
	山谷 泰賀	放射線医学総合研究所
	吉川 悦次	浜松ホトニクス
監事	安藤 裕	埼玉メディカルセンター
	篠川 毅	島津製作所

29



2018年度総会式次第

2. 審議事項

- ① 2017年度事業報告および2018年度事業計画
 - 大会関係
 - 学術・渉外担当
 - 国際担当
 - 編集委員会
 - 広報委員会
 - 教育委員会 (事業担当報告含む)
- ② 2017年度決算報告および会計監査報告
- ③ 2018年度予算案
- ④ 役員人事について
- ⑤ 田中栄一記念賞 (MIT誌論文賞) 規約の改定について

30



田中栄一記念賞 (MIT誌論文賞) 規約の改定について

背景：

変動の可能性がある、年間での受賞者数、および、原資の総額について、変動時にも対応した記載内容とするため、本規約を改定したい。

旧附則：

- 第1条** JAMITの学会誌である「日本医用画像工学会誌Medical Imaging Technology (MIT誌)」の「研究」カテゴリに掲載された原著論文の中から毎年最優秀論文1件を選定し、「田中栄一記念賞 (MIT誌論文賞)」を授与する。受賞対象者はJAMIT会員である著者全員とし表彰状と副賞を授与し、JAMIT会員である筆頭著者に賞金10万円を授与する。賞の選定は、各年1月～12月発行のMIT誌に掲載された論文単位で行う。
- 第2条** 「田中栄一記念賞 (MIT誌論文賞)」の選考はMIT誌編集委員会にて定められた内規に基づいて行い、その結果を常任幹事会にて審議の上承認する。
- 第3条** 原資金総額は200万円とし、なくなった時点で本賞の継続に関して再審議する。

2016年7月22日 (制定)

31



田中栄一記念賞 (MIT誌論文賞) 規約の改定について

新附則：

- 第1条** JAMITの学会誌である「日本医用画像工学会誌Medical Imaging Technology (MIT誌)」の「研究」カテゴリに掲載された原著論文の中から毎年最優秀論文を選定し、「田中栄一記念賞 (MIT誌論文賞)」を授与する。受賞対象者はJAMIT会員である著者全員とし表彰状と副賞を授与し、JAMIT会員である筆頭著者に賞金10万円を授与する。賞の選定は、各年1月～12月発行のMIT誌に掲載された論文単位で行う。
- 第2条** 「田中栄一記念賞 (MIT誌論文賞)」の選考はMIT誌編集委員会にて定められた内規に基づいて行い、その結果を常任幹事会にて審議の上承認する。
- 第3条** 本賞を用途とする寄附金を原資とし、なくなった時点で本賞の継続に関して再審議する。

2016年7月22日 (制定)
2018年7月26日 (一部改定)

32



2018年度総会式次第

1. 開会の辞
2. 審議事項
 - (1) 2017年度事業報告および2018年度事業計画
 - (2) 2017年度決算報告および会計監査報告
 - (3) 2018年度予算案
 - (4) 役員人事、他
3. 第36回大会「大会奨励賞」授賞者報告
4. 2017年度「田中栄一記念賞」(MIT誌論文賞)授賞者報告
5. 功労賞表彰
6. 第38回大会長の挨拶
7. 閉会の辞

33



第36回大会「大会奨励賞」受賞者報告

2017年9月ホームページで発表済み/10月賞状・副賞送付

演題番号	発表者・所属・タイトル
OP1-5	長塚 充朗 九州工業大学 DCNNによる胸部CT画像からの経時的差分画像上の異常検出性能の検証
OP1-6	小田 藤久 名古屋大学大学院情報科学研究科 3D U-Netによる3次元胸部CT像からのリンパ管検出
OP3-1	小西 孝明 中央大学大学院情報科学研究科 人工的学習画像を用いた転移性肝がん検出のための画像処理済み法の検討
OP4-4	藤井 基成 立命館大学 理工学部 電子情報工学科 畳み込みニューラルネットワーク(CNN)を用いた経絡線量CT(Computed Tomography)画像の高画質化
OP7-5	疫藤 聡 九州工業大学 SRFを用いた経時CT画像からの腎臓領域の位置合わせ
OP11-6	立花 泰彦 量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 分子イメージング診断治療研究部 畳み込み深層ニューラルネットワークを画像診断に用いるために有用な前置置ソフトウェアの開発
OP11-7	小田 昌英 名古屋大学情報科学研究科 CT像から抽出した腹部動脈領域におけるCNNを用いた過検出削減でのパンチ画像生成手法の検討
OP12-4	久保 貴寛 東京農工大学 工学部 胸部CT像における腫瘍断層構造の統計的モデル
OP13-3	河村 直輝 名古屋工業大学 MR超画像のための大域事前情報に基づく正則化凸射影法
OP13-5	田中 亨 キヤノン株式会社 シックスライスCT画像における経時差分画像のアーチファクト低減手法
OP15-3	森口 和也 奈良先端科学技術大学院大学大学院情報科学研究科 形状特徴を用いた肝臓腫瘍の形状検出精度向上
OP16-5	守谷 享徳 名古屋大学大学院情報科学研究科 K-means法とJoint Unsupervised Learningによる3次元医用画像の教師なしセグメンテーション

34



2018年度総会式次第

1. 開会の辞
2. 審議事項
 - (1) 2017年度事業報告および2018年度事業計画
 - (2) 2017年度決算報告および会計監査報告
 - (3) 2018年度予算案
 - (4) 役員人事、他
3. 第36回大会「大会奨励賞」授賞者報告
4. 2017年度「田中栄一記念賞」(MIT誌論文賞)授賞者報告
5. 功労賞表彰
6. 第38回大会長の挨拶
7. 閉会の辞

35



2017年度 田中栄一記念賞 (MIT誌論文賞)

『Accelerated Algorithm for Compressed Sensing Using Nonlinear Sparsifying Transform in CT Image Reconstruction』(Vol.35, No.1, pp.63-73)

董建, 工藤博幸
筑波大学システム情報系

概要:

本論文では、非線形スパースファイ変換を用いたCSIに用いる高速に収束する反復アルゴリズムを提案する。具体的には、近接スプリットングとよばれるローアクション型の反復アルゴリズムを導出可能な数学的枠組みを用いて、ローアクション型の高速に収束する画像更新が可能な反復アルゴリズムを構築する。提案手法により、先行研究で提案した同時反復型の構造をもつ反復アルゴリズムと比較して、反復回数と収束に要する計算時間を大幅に削減することができた。提案手法の有効性を、数値ファントムと歯科用CT画像を用いた画像再構成実験により検証した。

36



2017年度 田中栄一記念賞 (MIT誌論文賞)

『乳房超音波画像からの乳腺組織の自動抽出を利用した正常モデルに基づく腫瘍検出』(Vol.35, No.4, pp.227-238)

山崎 優大 1), 高橋 栄一 2), 岩田 昌也 2), 野里 博和 2),
何森 亜由美 3), 岩瀬 拓士 4), 國分 優美 5), 坂無 英徳 2)

1) 筑波大学大学院システム情報工学研究科, 2) 産業技術総合研究所人工知能研究センター, 3) 高松平和病院外科, 4) がん研有明病院乳腺センター外科, 5) がん研有明病院画像診断部

概要:

本稿では、乳房超音波画像において乳腺組織にのみ着目した腫瘍検出手法を提案する。乳房超音波画像の各領域から、乳腺組織のもっともらしさを表す乳腺尤度と正常モデルからの逸脱を表す異常度を算出し、乳腺尤度と異常度が共に高い領域を腫瘍として検出する。実験では、腫瘍ありの乳房超音波画像に提案手法を適用し、乳腺尤度を用いない従来手法と比較して腫瘍検出精度が向上することを確認した。

37



2018年度総会式次第

1. 開会の辞
2. 審議事項
 - (1) 2017年度事業報告および2018年度事業計画
 - (2) 2017年度決算報告および会計監査報告
 - (3) 2018年度予算案
 - (4) 役員人事、他
3. 第36回大会「大会奨励賞」授賞者報告
4. 2017年度「田中栄一記念賞」(MIT誌論文賞) 授賞者報告
5. 功労賞表彰
6. 第38回大会長の挨拶
7. 閉会の辞

38



功労賞 表彰

縄野 繁 先生

(国際医療福祉大学)

表彰理由:

多年にわたり、日本医用画像工学会の発展に大きく寄与いただき、特に、2012年からの4年間は、学会長として、学会の運営に多大なるご貢献をいただきました。

ここに、その功労をたたえ、功労賞をもって、表彰いたします。



39



2018年度総会式次第

1. 開会の辞
2. 審議事項
 - (1) 2017年度事業報告および2018年度事業計画
 - (2) 2017年度決算報告および会計監査報告
 - (3) 2018年度予算案
 - (4) 役員人事、他
3. 第36回大会「大会奨励賞」授賞者報告
4. 2017年度「田中栄一記念賞」(MIT誌論文賞) 授賞者報告
5. 功労賞表彰
6. 第38回大会長の挨拶
7. 閉会の辞

40



第38回日本医用画像工学会大会 (JAMIT2019@奈良)

大会長：佐藤 嘉伸 (奈良先端科学技術大学院大学)

会期：2019年 7月24日(水)～26日(金)

会場：奈良県文化会館 (近鉄奈良駅から徒歩5分)

会期・会場は、
変更の可能性あり



41



2018年度総会式次第

1. 開会の辞
2. 審議事項
 - (1) 2017年度事業報告および2018年度事業計画
 - (2) 2017年度決算報告および会計監査報告
 - (3) 2018年度予算案
 - (4) 役員人事、他
3. 第36回大会「大会奨励賞」授賞者報告
4. 2017年度「田中栄一記念賞」(MIT誌論文賞) 授賞者報告
5. 功労賞表彰
6. 第38回大会長の挨拶
7. 閉会の辞

42